

平成 23 年度 第 8 回理事会抄録

日時：平成 23 年 12 月 17 日（土）13:00～16:08

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原（事務局長）、長尾、岩崎（監事）、香山、佐藤（善）、谷、土井、陣内、山本（常務理事）、宇田、大丸、苅山、北山、坂井、高島、東、藤井、三澤、森（理事）、伊藤（選挙管理委員長）、高木（士会連絡協議会長）

審議事項

1．平成 24 年度予算案について（香山財務担当理事）各部から提出された予算について個別に調整し、総計表としてまとめ第 1 案として提示された。各部長より事業計画に沿って補足説明。まだ確定できない事項もあるので、1 月に再度提示する。2 月の理事会で決定する。 継続審議

2．ガイドライン等の紙媒体発行部数について（苅山学術副部長）HP からのダウンロードを可能にすることを前提として、紙媒体では各士会に 10 部程度ずつ配布し、新入会員への配布等必要部数は検討する。ガイドライン実践指針発行は次年度になる。 承認

3．第 49 回日本作業療法学会の学会長及び開催士会候補の推薦について（苅山学術副部長）第 49 回（平成 27 年 6 月 26 日～28 日）日本作業療法学会長は古川宏氏、開催士会は兵庫県士会とする。 承認

4．倫理問題事案について（会長）青少年に係る刑事事件で逮捕された会員について、倫理問題の処理に関する規程に基づき検討した結果、退会処分とする。 承認

5．強制退会者の再度入会について（荻原事務局長）再入会希望者 2 名、未納会費は清算済み。 承認

6．原発避難者の会費免除について（香山財務担当理事）第 5 回原発避難免除申請者 2 名 承認

報告事項

1．平成 23 年度代議員名簿について（伊藤選挙管理委員長）平成 23 年度代議員 197 名が確定した。登録日は平成 23 年 12 月 11 日。投票に際し 4 件あった不具合について、分析を

業者に依頼し、システムの見直しが必要かどうか検討していきたい。

2. 教育関連 1) 広告可能な医療職の資格認定の届出に関する厚生労働省訪問について(陣内教育部長) 12月9日に厚生労働省医政局を訪問した。専門性の資格は学術団体が認定するものであり、職能団体では困難である。その他要件等について確認を行った。学術団体に関する方向性の検討、臨床研修施設の認定に関する検討等の課題について検討を行う。

2) 日本リハビリテーション教育評価機構(仮称)について(陣内教育部長) 当協会、(社)日本理学療法士協会、(一般社)日本言語聴覚士協会、全国理学療法士・作業療法士学校連絡協議会、日本リハビリテーション学校協会の5団体で、教育について評価する機構の立ち上げに向けて進んでいる。平成24年4月に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構として設立予定。当協会として300万円拠出予定。

3. 制度対策関連 1) 訪問リハビリテーション振興会の来年度のあり方と分担金について(土井常務理事) 訪問リハビリテーション振興会は解散し、事業の継続のため新たにシンクタンク的な委員会を設置し、事業を移管することを3協会会長会議で決定した。管理者研修会は訪問リハビリテーション研究会に委託する。分担金として当協会から100万円を拠出する。

2) 「日本の医療を守るための総決起大会」決議について(会長) 12月9日に開催、TPP反対の決議をした。

3) 公明党厚生労働部会等に対する平成24年度介護報酬改定要望について(山本制度対策部長) 12月15日に公明党厚生労働部会部会長、他に衆議院議員、元厚生労働副大臣等を訪問、共同利用型訪問リハビリテーションの創設、訪問看護7を訪問リハとして取り扱うこと等を要望した。

4. 広報部全体会議について(谷広報部長) 平成24年3月18日(日)開催予定の広報部全体会議のプログラムを決定した。

5. 国際部活動報告(佐藤国際部長) 全国研修会(山梨・鹿児島)でWFOT世界大会広報、JICA活動紹介等の情報提供及び国際学会参加までのプロセス紹介をした。11/20 - 11/22開催のWFOTアジア太平洋地域グループ代表者会議に参加した。

6. 災害対策関連 1) アザラシ型ロボット「パロ」寄贈の受け入れと震災地での活用のお願いについて(香山災害対策担当理事) アザラシ型ロボット「パロ」6体寄贈の申し入れがあったが、6体を有効的に活用する配布先の判断ができない、定時で連絡することが要件としてあるがその余裕もないこと、有効性を検証するところまでいっていない等の理由か

ら対応不可の文書回答をした。

2) 東日本大震災被災地「足こぎ車いす」に関する要望書への対応について(会長)震災関係で足こぎ車椅子の予算要求が出ているが、当協会が要望を出したのかとの問い合わせがあったが、出していないとの回答をした。

3) 南相馬市ボランティアについて(香山災害対策担当理事)仮設住宅サロン支援を中心に12月16日まで支援に入っていた。1月から再開する。希望者が少ないので、声かけをお願いしたい。

7. 渉外活動報告 文書報告

8. 生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業及び啓発説明会について(土井常務理事)。平成24年2月18日～19日開催の普及啓発研修会への参加要請を各士会に行った。

9. その他 荻原事務局長：白書の発行が24年2月になる予定。森理事：都道府県士会連絡協議会との連絡調整会議を平成24年3月17日、理事会終了後に行う予定で準備中。

中村会長：日本介助犬協会から理事推薦の打診があり、森理事にお願いする。